

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインと其中的漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

頭部外傷治療・管理のガイドライン 第4版

頭部外傷治療・管理のガイドライン作成委員会（委員長：富永悌二）

医学書院、2019年10月14日発行

Minds 掲載 有

Strength of Recommendation

A: 行うよう勧められる

B: 行うことを考慮してもよい

C: 行うことは勧められない

■1 漢方薬（抑肝散）

疾患：

外傷急性期の精神障害

CPG 中の Strength of Recommendation:

B: 行うことを考慮してもよい

有効性に関する記載ないしその要約:

外傷急性期の精神障害の項に、下記の記載がある。

『推奨：脳損傷で生じた興奮に対しては、バルプロ酸、カルバマゼピンや漢方薬（抑肝散）の投与を考慮してよい（グレード B）。』